

で〜れ〜BOOKS 2018

で〜れ〜BOOKSとは、岡山の高校図書館による **高校生向けのおすすめ本** コンテストです。
 図書館には **多様なジャンルの本** があることを知ってもらいたい！という願いから、小説以外の本を選考対象としています。
 岡山県高等学校図書館ネットワーク研究委員会が主催して毎年実施しており、**今回が第5回目**となります。

大賞 バッタを倒しにアフリカへ

前野 ウルド 浩太郎 / 光文社

著者からメッセージをいただきました！



進路探しは図書館で ― 転ばぬ先の「本」

私が昆虫学者を志したきっかけは、図書館にあった「ファーブル昆虫記」でした。ファーブルという人物を通して「職業・昆虫学者」の魅力を知りました。進路選びは大変ですが、その道を進んだ人がどんな人生を歩んでいるかは、一冊の本から知ることができます。ノリで人生を進めて取り返しがつかなくなるその前に、本を通して進路の先にいる自分の姿を思い描いてみませんか？ ぜひ、貴方の人生に寄り添う運命の一冊に巡り会ってください。

【おすすめコメント】 八方塞がりに見える状態でも、投げ出さず、頭も体も全身をフルに使って困難を乗り越えていく姿勢に圧倒された。／夢を持つことの大切さはもちろんのこと、研究者の苦勞、モータニアのお国柄を知ることができた。／「子どもの頃からの夢をかなえる」「若い研究者の職探しという現実」「異文化コミュニケーション」いろいろなテーマが詰まっています。／タイトルも表紙もおかしい。裏表紙には「ホントはバッタに喰われにアフリカへ」とある。この怪しい著者のバッタ研究は、好きだからこそできること。「好き」を仕事にしてまっすぐに楽しむ姿が清々しい。／アフリカで農作物を食い荒らすバッタの防除を開発する昆虫学者の過酷な研究の日々…。この状況をものごく楽しんでいる（ように見える）ところがすごい。／理系研究者志望の人に読んでほしい。／目標達成までの道のりを強い意志で進むんだ！と思えます！！著者のバッタ愛、圧倒されます。で〜れ〜BOOKS 2018

2位 虹色のチョコレート 働く幸せを実現した町工場の奇跡

小松 成美 / 幻冬舎



業界トップシェアのチョコレート工場。知的障がい者がいきいきと働く会社を作りたいという、経営者達の気概が伝わってくる。／ほんのちょっとした気遣いや労りで、誰もがもっと生きやすくなる。／小学校では身近にいた障がいのある人が、中・高・大と接する機会が減っていく人も多いのでは？ 障がいの有無ではなく人として接すること、周囲の想いを知ること…考えさせられる一冊。／働くことの本質を発見できる本。

で〜れ〜BOOKS 2018

3位 あるかしら書店 ヨシタケシンスケ / ポプラ社



この本を読むと、自分だけの本を見つけたくくなります。本や書店に対する愛情いっぱいの絵本です。／固定観念にとらわれない、自由な発想にくすくすと笑われる。／どんな本でも揃っちゃう不思議な書店。ほんとにこの本あるんじゃない？と思ってしまいそうです。／いろんな人の、いろんな「あるかしら？」を叶える「あるかしら書店」。想像の翼が広がっていく。読んだ後は図書館に「あれ…あるかしら？」と来てくれると嬉しい。

で〜れ〜BOOKS 2018

女の子が生きていくときに、覚えていてほしいこと

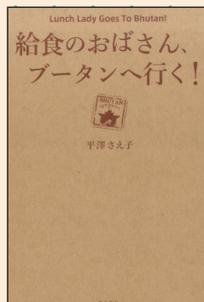
西原理恵子 KADOKAWA



自分の人生は、自分で切り開いていくほうがいい。波乱万丈な人生を送ってきた西原さんだからこそ説得力のあるメッセージがいっぱい詰まった本です。／パンチが効いていました。男子も女子も覚悟を決めて「生きていく」。／女の子にぜひ読んでほしい本です。男の子もだ。／他力本願で生きるのではなく、自分の生活、自分の幸せは自力でつかみとるもの。／もしかしたらまだピンと来ないかも…？ だからこそ、読んでほしい。で〜れ〜BOOKS 2018

給食のおばさん、ブータンへ行く！

平澤さえ子 飛鳥新社



親近感の持てる文章は、多くの人に会って来た著者の人柄だろうか。前向きな人柄に、元気をもらえる。出てくる料理に元気をもらえる。そんな1冊。／1つのことを長く続ける大切さと、夢をかなえる行動力をぜひ見習ってほしい。／食べることって大切。／明日は何が起こるか分からない、踏み出してみよう／グローバルな世界観でものを見ること、21世紀スキルです。／おいしい食べものは万国共通であり、国境を越えて触れ合うことができる。／著者の気取らない生き方がステキだと思う。／パワフルな「おばさん」にこちらまで元気になります！ 食は人を元気にしますね。で〜れ〜BOOKS 2018

僕たちが何者でもなかった頃の話をして

山中 伸弥 羽生 善治 是枝 裕和 山極 壽一 永田 和宏

文藝春秋

今自分がやっていること、直面している現実はず必ず未来につながっていることを確信させてくれる。／メンバーが超豪華。その豪華なメンバーを、少し身近に感じることができる本。／偉い人たちも自分と同じように失敗や挫折を経験し、将来への不安や焦りを感じていたことを知り、自分も頑張ってみようと「一歩を踏み出す勇気」をくれる一冊です。／一流の人たちの生き方は、自分が迷ったときに、まず参考にするべきもの。／まだ、何者にもなっていないあなたにおすすめ。

でーれーBOOKS 2018



もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら

神田 桂一 菊池 良

宝島社

文豪が書いたら、まさにそんな感じ！じわじわ面白いです。／元ネタがわからないと笑えないが、元ネタがわからなくても笑えるか、元ネタを知らなくても知りたくなるのか？知識がある意味広がる図書かもしれません。／個人的にはイラストがツボです。／世の中にはこんな遊び心満載の本もあるよ、とお知らせしたい。／ばかばかしくも奥が深いパロディ作品。／文豪だけでなく、雑誌や漫才、ビジネスメール、インスタなどさまざまなバージョンがあり、焼きそばひとつでここまで書けるか！と感心するほど。／自分でマネして創作してみるのもよいかも。続編も楽しんで。

でーれーBOOKS 2018



でーれー
BOOKS

2018

高校生向け
でーれ一本。



鳥類学者だからって、鳥が好きだと思ふなよ。

川上 和人

新潮社

タイトルとは裏腹に鳥への愛が詰まっています。／調査記録に小ネタが合わさった感じで脱線がおもしろい。／研究の魅力や大変さについて知ることができる、何より読んで楽しい。／タイトルからして面白かったのですが（笑）、ちょいちょいはさんでくる小ネタが多く、脱線しながらの内容は、雑談をしているような感覚で、面白く読めました。本筋の内容も興味深いものでしたし、とても魅力的な職業なんだな、と思いました。これから自分の職業を探していく高校生にも、いい意味で刺激を与えてくれるのでは。

でーれーBOOKS 2018



顔二モマケズ

水野 敬也

文響社

どんな「見た目」でも幸せになれることを証明した9人の物語

小さなことでクヨクヨしてしまいがちな自分だが、読後、もっと強くなろうと思えた。／悩みが解決することはなくても、ひとつずつ乗り越えたり、折り合いをつけていくことができると、この本から学びたい。／「見た目」の悩みに深く向き合い、葛藤した末にたどり着いた言葉は、心を打つものがあります。個々の悩みを抱える高校生に、自分なりの乗り越え方を見つけ、その後も悩みと向き合い続ける生き方に触れて欲しい。／他者を理解することのできる大人になってほしい。／人としての『魅力』がどこにあるのかを気づかせてくれます。

でーれーBOOKS 2018



知らなかった、ぼくらの戦争

アーサー・ビナード編著 / 小学館

アメリカ人の日本語詩人である著者が、23人の戦争体験を書籍化した本。戦争と今の時代が地続きであると感じられた。／教科書の中の戦争が、語り部の方々の言葉を通してぼくらのわたしたちの戦争になる。高畑勲さんの岡山空襲の体験も載っています。／読み始めたそばから、自分の土台が崩れていくような衝撃でした。知ってしまった事実と、どう折り合いをつけなければならないだろう。／歴史を知り、これからの世界を考えるために読んでほしい。

でーれーBOOKS 2018



洞窟ばか すきあはば、前人未踏の洞窟探検

吉田 勝次

扶桑社

この著者、おそろしく破天荒！世の中にはこんな世界があるのか、とおもしろおかしく読める。／好きな事をしている人は熱い！未知の世界に挑戦し、恐ろしい体験にドキドキします。／未知の世界を見たい、知りたいという強い思いを持ち、探検の過程でのワクワク感や感動を体験できる人生は幸せだと思います。ひとりひとり自分にとっての洞窟をみつけてほしい。／好きなことを極めるのに、それを『趣味』とするか『仕事』とするか。好きなことに打ち込むには、いろんな方法がある。

でーれーBOOKS 2018



学校へ行けなかった私が「あの花」「ここさけ」を書くまで

岡田 麿里 / 文藝春秋

他人の「生きにくさ」を第三者の視点で読むことで、自分の「生きにくさ」を見つめる契機となる。／「自分と向き合う」ことを考えさせられる。／不登校の話、繊細すぎて傷つく話など、思春期の世代にこれほどピッタリのオススメ本は他にない。

でーれーBOOKS 2018

